| 特集1 | 今、どんなレーザー商材が売れているのかを調べてみました

あの店、この店で 売れている レーザー商材を探せ！

OGBSの三種の神器、レーザー加工機。アクリルや木への名入れはもちろん、ウエアプリントでのマークカット、住所印などゴム印スタンプの製造、印刷ビジネスでの紙カットなど様々な用途で活用されている。

ところが、幅広く使えるからこそ「何に使っていいのか分からない」という声も多い。一昔前は木札ストラップが爆発的な人気を博していたので、「とりあえず」木札を並べておけば売れた。しかし、スマホの普及でストラップ需要そのものが減少。今なお定番商品ではあるものの、以前ほどの勢いはない。「レーザーは何にでも使えて便利」だが、人気商材が不在のまま現在に至っている。

木札の爆発的ヒットは異例中の異例？

これは嘆くことではない。前述したように、レーザー加工機は様々な使い方ができるのが醍醐味。業種に関わらず、製造工程の短縮や効率化に貢献してくれるシステムなのだ。言わば、木札の爆発的なヒットが異例中の異例と言ってもいいだろう。

とは言え、レーザーを持っているのだから「何か売れる商材が欲しい」と考えるのは当然の心理。売れている実績があって、しかも新しい商材の情報が知りたい……というのがレーザーユーザーの共通認識だろう。

爆発的には売れない、しかし安定的には売れる

木札のような人気選手が不在の今、どんな商材がどんなお客に売れているのかが分かりにくい。そこで本特集では、レーザー加工用の商材に的を絞って、どのようなお店が、どんなモノを売っているのかを取材。その結果分かったのは、「爆発的に売れている商材は無い。しかし、着実に売れている商材は確かにある」ということ。

example

金属レーザーで客数増？ レーザー商材販売のプロが語る「名入れは女性客が主力」

東急ハンズ渋谷店、レーザー彫刻工房（東京都渋谷区）

東急ハンズ渋谷店5Fにある「レーザー彫刻工房」は、レーザー加工ショップのお手本と言える。月平均売上200万円前後で、その100%がレーザー加工。注文全てを店頭のレーザー機で加工している。同店は以前も本誌で取り上げたことがあるが、昨年11月にファイバーレーザーを導入し、金属加工をスタート。新たな展開を始めている。

運営しているのは、レーザー加工機販売を手掛ける㈱ユー・イー・エス（東京都武蔵野市）。同社はハンズ渋谷店以外に、ハンズ池袋店にも同スタイルのショップを出店。ここで培ったノウハウやユーザー動向を分析し、同社のユーザーにフィードバックしている。

東急ハンズ渋谷店「レーザー彫刻工房」の広さは約2坪。ガラスカウンターの奥にユニバーサル社のCO2レーザー、ファイバーレーザーが置かれている。表札、プレート、名札、スマホカバー、タンブラーなど、加工サンプルの量は他のOGBSを圧倒する。レーザー加工は様々なことができるが故にPR方法が難しいが、同店では具体的な商品を作って展示することで、来店客が直感的に「何を扱っているか」分かるよう工夫している。

二層板関連商材はビジネス用途が多い

レーザー彫刻工房で1番の売れ筋は二層板を使用したプレートや表札。平均売価は3000～5000円だ。ネームバッジはビジネス用途として人気。5～20個のまとめ買いで、平均売価は900～1000円。リピーターも多く、新入社員が入ると毎年注文に訪れるお客もいる。

同店の田辺一真店長は、「渋谷店に出店したのは10年以上前。名札やプレートなど、ビジネスユーザーは常連も多いんです」。

これにより、二層板関連の売上は全体の6割にも及ぶ。

④東急ハンズ渋谷店の「レーザー彫刻工房」。表札、プレート、名札、ストラップからアクリルプラーク、革製品など多種多様なレーザー加工サンプルが並ぶ。取材中も、興味深げにサンプルを見たり、注文するお客の姿が見られた。10年以上のキャリアがある、レーザー加工ショップのお手本だ。

写真左上は革製品、木製品のレーザー加工用商材が並べられた棚。人気商材は下段左に置かれたボールペン。写真右上は金属加工のサンプルをまとめた陳列。オイルライター、スキットル、タンブラーなど人気商品（写真左）のほかに、お好み焼きのコテ、ナイフ、フォークなども並べられている。
写真一番左がレーザー加工機。手前がユニバーサル社製のCO2レーザー。奥に見えるのが、新たに導入された金属加工用のファイバーレーザー。

定番商材として人気なのは、ウッドペン。メープル、ローズ、ウォールナットの3種類で、本体価格は1000円、彫刻代は540円～。プレゼントや記念品に購入するお客が多く、長年のベストセラー。革製品もコンスタントに売れている。キーケースやキーホルダーが特に人気で、自分で使うため、プレゼント用途のどちらも人気。レーザー加工の内容は名入れだけではなく、ロゴなどデザインの持ち込みも多い。

ストラップは健闘、スマホカバーはこれから

意外なのは、ストラップ系商材。田辺店長は、「一時期に比べれば落ちているのは確かですが、悲観するほどでもありません。まだまだ健闘しています」。二層板のうちわ型キーホルダーは安定した人気で、木札は迷子札用途としても売れるそうだ。

シーズン商品なのがアクリル製の楯（プラーク）。卒業シーズンや企業内表彰の時期に合わせるために、秋口や3～4月に注文が集中。売るのが難しいと言われているアクリル楯だが、多い月では20個以上の注文が入ると言う。

流行りのスマホカバーは「これからの商材」と田辺店長。

東急ハンズ渋谷店
レーザー彫刻工房
田辺 一真 店長

「iPhone6はまだ販売実績は少ないですが、食いつきはいいですね。自分の名前をただ入れるだけでなく、『百分で描いた絵を入れたい』と言うお客様が意外と多い」。

昨年11月にスタートした金属加工の一番人気は「オイルライター」。ライターそのものは同店でも扱っているが、ほとんどが東急ハンズ渋谷店にある別の売場で購入し、それを持ち込んでくる。

「色んな売場にPOPや加工サンプルを置かせてもらっているのでその成果だと思います」（田辺店長）。他にもスキットルやタンブラーへの金属加工が人気で、こちらも持ち込みがほとんど。

金属加工は難しそうに思えるが、「シルバーなど柔らかい素材は難しいが、ステンレスや真鍮などは問題なくキレイに加工できます。一度も加工したことのない商材は、一度試して色の出方などをチェックしています」。

金属加工の名入れ価格は1080円～。金属加工を始めたことで、これまで取り込めなかった客層を呼び込むことに成功、客数は倍近くまで増えたそうだ。

東急ハンズ渋谷店には多い日で約1万人が来店するが、レーザー彫刻工房の平均来客数は1日で20人弱。年齢層は20～40代が多く、男女比率は5：5。名入れは女性客からの注文が多いと言う。オリジナリティを出すため、自分用やプレゼント用としての名入れは、女性からの支持が強いようだ。

レーザー彫刻工房の販売スタイルを見ると、「ヒット商品の不在」はそれほど大した問題ではないことがわかる。それよりも、コンスタントに出る注文を取り逃がさないことや、金属加工のような新しい分野に挑戦することで、客の幅を広げている。

田辺店長に聞くと、「レーザーの稼働時間は1日約7時間」というから驚き。それだけの仕事量を生み出しているのは、10年以上の経験はもちろん、豊富な商材と加工サンプル、そして新しいことに挑戦する意欲なのだろう。

example

わかやま国体開催でメタルペンが3000本以上！社会福祉の1歩進んだレーザー仕事

社会福祉法人 太陽福祉会 太陽作業所（和歌山県日高郡）

社会福祉法人 太陽福祉会が運営する太陽作業所（中橋彦也所長）では、平成23年からユニバーサル社製のレーザー加工機を導入し、様々な場面で活用している。

社会福祉法人とレーザー加工の繋がりにピンとこない読者もいるかも知れないが、実はレーザー加工に限らず、シルク印刷や縫製、軽印刷など、OGBSでお馴染みの仕事は、全国各地にある福祉作業所でもおこなわれている。

作業所は、障がいのある人達に働く場の提供や技能取得を支援している。つまり、そのためのアイテムとしてOGBS関連の商材が選ばれているということだ。

太陽作業所では靴下の返し作業や糸きり作業の他、縫製作業、木工作業がおこなわれている。レーザー加工機が導入されているのは、木工作業。

昭和61年から続くこの木工作業場は、近隣の木工業者の下請けや、糸ノコを使った木製のパズル作りなどオリジナル商品の製造もおこなっている。

パズル作りのはずが国体グッズ作りに挑戦？

当初、レーザー加工機はパズル作りの一助として導入されていたが、平成25年頃から風向きが変わった。その理由は、今年9月から和歌山県で開催される「2015紀の国わかやま国体」と「2015紀の国わかやま大会」だ。

国体は和歌山県全域で開催され、陸上、水泳、サッカー、テニス、バレーボールなど38競技が実施される（大会は計13競技）。和歌山県はこの国体・大会に力を注ぎ、「きいちゃん」というマスコットキャラクターを設置。約2年前からは「きいちゃんグッズ」の開発を地元業者に奨励した。これに名乗りを上げたのが、太陽作業所だ。

同所でのレーザー加工仕事は、一般的なOGBSとは少し違う意

太陽作業所の木工加工がおこなわれている作業場。ズラリと並んだ糸ノコで作業したり、レーザー加工後の仕上げをおこなう人も。

Shiny www.stantec.co.jp

新登場

柄が取れるから
配送時のコスト減。
スタンプパッド内蔵
通販向け、
100サイズ以上の
ゴム印ホルダー

随時発売予定

Shiny duo

シャイニー・デュオ・ホルダー
Shiny duo Holder

柄の着脱が簡単な、画期的なスタンプホルダーです。コンパクトに収まるので、配送コストを下げられます。フタ部分にはスタンプパッドを内蔵可能。特殊なロック機構で保管時はスタンプパッドに印面が触れないため、印面の劣化を防ぐことができます。

輸入販売元：株式会社スタンテック
〒344-0076 埼玉県川口市本蓮1-6-21
TEL:048-285-9221
FAX:048-284-8870
E-male:s.t@stantec.co.jp